

第2回 中等日本語教育授業教案コンテスト

教 案

【注意事項】

※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りの言葉など詳しく書いてください。

※授業時間は、1コマ40～45分です。

※教案は日本語で書いてください。

使用教科書：『みんなの日本語』 第 7 課 (全 6 コマの内、本教案は 2 コマ目) 1 コマ 40 分 【要選択】(高校 ・ 中学) 1 年 クラスの人数 28 人 【要選択】 第一外国語 第二外国語 課外活動 その他 () 日本語学習歴 5 ヶ月				
この授業の到達目標 方法・手段を示す助詞「で」を使うことができる				
この授業の学習項目 ～で～ます。(道具・手段)				
時間	段階 (授業の 流れ)	練習・活動の内容(詳しく書いてください)	練習・活動の目的	注意点・ 使用するもの
2分	言葉の 復習	新出語を動詞と名詞の二部分に分けて復習する T: 絵を見せながら新出語の復習をする	文法項目の勉強への準備	PPT を使う
4分	N (道具・言語) で V	導入 例1 T: (箸の絵を見せる) これは何ですか。 S: 箸です。 T: (箸でご飯を食べる絵を見せる) 何をしますか S: ご飯を食べます。 T: 箸でご飯を食べます。 例2 T: (ライフとフォークの絵を見せる) これは何ですか。 S: ライフとフォークです。 T: (ライフとフォークでステーキを食べる絵を見せる) 何をしますか S: ステーキを食べます。	S が絵を見ながら、先生の話を聞いて、これから何を勉強するか推測する	PPT を使う 絵を用意する

2分		T : ライフとフォークでステーキを食べます。 例3 T : (はさみの絵を見せる) これは何ですか。 S : はさみです。 T : (はさみで紙を切る絵を見る) 何をしますか。 S : 紙を切ります。／はさみで紙を切ります。 T : そうですね。はさみで紙を切ります。 例4 T : (パソコンの絵を見せる) これは何ですか。 S : パソコンです。 T : (オンライン勉強の時の生徒の写真を見せる) 何をしますか。 S : パソコンで日本語を勉強します。 T : そうですね。パソコンで日本語を勉強します。 まとめ (PPT) 箸でご飯を食べます。 ライフとフォークでステーキを食べます。 はさみで紙を切ります。 パソコンで日本語を勉強します。 N (道具 どうぐ) でVます。 Sに内容を読んでもらいながら、Tが説明する その後、クラス全員に PPT の内容を読ませる		二つの例を聞いて、授業内容を予測できる人がいるかもしれない、頷きながら「そうですね」を言う。 生徒のオンライン勉強したときの写真をPPTに入れて、親しみやすくなる 言葉が覚えていなくて、先生についていけない生徒がいるかも知れないので、まとめるときは状況によって、中国語で説明するかどうかに注意する
4分		練習 1) 道具と動作の絵を見せながら、話す練習。 (全員に答えてもらう) 例： はさみ 紙を切ります →はさみで 紙を切ります。	内容を理解できたかどうかをチェックする 例文から自分の文へ	クラスにあまり出来ていない生徒がいるかもしれないので、最初に全員に答えてもらい、その後個々人に文を作ってもら

		① ボールペン 手紙を書きます ② ケイタイ 写真を撮ります ③ 手 ご飯を食べます ④ 箸 ラーメンを食べます 2) 生徒に自分で例のように新出語を使って、文を作らせる。 例：日本人は箸でご飯を食べます。		
4分		展開 (1): 例1 T: (両手にそれぞれ A か B を書いた人を表す札を持ちながら二人が話合っているように話す) A: 私は鉛筆で宿題をします。(考える様子で) Bさんは? Bさんは鉛筆で宿題をしますか。 B: はい、鉛筆で宿題をします。 もう一度言う A: Bさんは鉛筆で宿題をしますか。→ Bさんも鉛筆で宿題をしますか B: はい、鉛筆で宿題をします。 例2 T: 私たちは中国人です。中国人は箸でご飯を食べます。じゃ、インドネシア人は? インドネシア人も箸でご飯を食べますか。 (インドネシア人が手でご飯をてベル絵を見せ) いいえ、インドネシア人は箸でご飯を食べません。手でご飯を食べます。 まとめ (PPT) ① Bさんは鉛筆で宿題をしますか。(質問) はい、鉛筆で宿題をします。(答え) ② インドネシア人は箸でご飯を食べますか。(質問) (インドネシア人が手でご飯を食べる絵を見せ) いいえ、インドネシア人は箸でご飯を食べません。手でご飯を食べます。(答え) SにPPTの内容を読ませる T: 質問と答えの言い方をまとめる		PPTを使う 事前に用意した話す人をAとBの道具を使う ここでは、「Bさんも鉛筆で宿題をしますか」と言う生徒がいるかもしなので、ここで、「も」を簡単にふれます。
3分		練習 例の対話のように二人で例のようにペア練習させ、またその内容を話させ	内容を理解できたかどうかをチェックする	

		る 例： Bさんは鉛筆で宿題をしますか。(質問) はい、鉛筆で宿題をします。 Bさんは鉛筆で宿題をしますか。(質問) いいえ、鉛筆で宿題をしません。ボールペンで宿題をします。		
3分		展開 2 例： (箸と中国人が箸でご飯を食べる絵を Sに見せる) T：私たち中国人は 箸 でご飯を食べます。 (手とインドネシア人が手でご飯を食べる絵を Sに見せる) インドネシア人は 手 で ご飯を 食べます。 (? と 着物を着ている日本人の絵を Sに見せる) {日本人は?でご飯を食べますか。(P P T) } T:日本人は 何 で ご飯を食べますか。 もう一度言う T：私たち中国人は 箸 で ご飯を食べます。 インドネシア人は手 で ご飯を 食べます。 日本人は 何 で ご飯を食べますか。 例 2 (? と 手紙を書く絵を見せる) T：手紙を書きます。 {?で手紙を書きますか。(P P T) } T: 何で手紙を書きますか。 (ボールペンの絵を見せる) T：ボールペンで手紙を書きます。 説明しながらまとめ (P P T) 何で～をVますか。 何で手紙を書きますか。 ボールペンで手紙を書きます。		
7分		練習	内容理解できたか	

	1、教科書練習 A-1 を読む (全員 1 回→男子生徒下の質問文+助詞生徒の答え文) 2、教科書練習 B-1 の絵を使って会話する 例の絵を使い、ペア練習させる(両手にそれぞれ A か B を書いた人を表す札を持ちながら二人が話し合っているように話す) A: 何でご飯を食べますか。 B: 箸でご飯を食べます。 1-4 練習 3、まとめ練習 (先のペアと違う人とペアにならせる) (T 両手にそれぞれ A か B を書いた札を持ちながら会話する) A: 私はラジオで日本語を勉強します。 B さんもラジオで日本語を勉強しますか。 B: はい、私もラジオで日本語を勉強します。 A: 私はラジオで日本語を勉強します。 B さんもラジオで日本語を勉強しますか。 B: いいえ、私はラジオで日本語を勉強しません。 A: B さんは何で日本語を勉強しますか。 B: 私は CD で日本語を勉強します。 PPT で次のパターンを S に見せる (一) A: 私は_____で_____します。 B さんも_____で_____ますか。 B: はい、私も_____します。 (二) A: 私は_____で_____します。 B さんも_____で_____ますか。 B: いいえ、私は_____で_____ません。 A: B さんは何で_____ますか。 B: 私は_____で_____ます。	どうかをチェックする 決まった内容でドリル練習させる	
7 分	4、聴解練習 (PPT) 『みんなの日本語 聞き取り』第 7 課問	総合練習をする	

	題1 ①Tが(絵を見せながら言う)それぞれ何ですか。それで何をしますか。 例の絵 T:これは何ですか。 これで何をしますか。 このように1～3について話させる T:これは博物館のものです。昔の人は使いました。何ですか、それで何をしますか。聞きましょう。 聴解内容:博物館へ行きました。何を見ましたか。昔の人はそれで何をしましたか。 ... 一回目:聞く 本に答えを書く 二回目:自分で答えを確認する S答えてもらう 三回目:CDについて、Sに一文ずつ真似ながら読ませながら、Tがポイントの部分を説明する。答えをチェックする 四回目:CDを止めながら、空いている部分を書かせる(プリントを配る) 例: A:すみません。これは_____。 B:スプーンです。昔の人は_____。 1) A:あう、これは_____。 B:はさみです A:はさみ? B:ええ。_____。 2) A:これで_____。 B:いいえ、タバコを吸いました。これは「パイプ」です。 A:タバコのパイプですか。 B:ええ。 3) A:ちょっとすみません、これは_____。 B:お金です A:へえ、お金ですか。_____。 B:何も買いませんでした。これはプレゼントです。友達にあげました。 A:へえ。 五回目:Sに書いた内容を答え、また確認	あまりできない生徒がいかもしれないので、3回目まで聞くと予定する。 4回目と5回目はシャドーイングへの準備 (5回目を聞くかどうかは生徒の様子によって決める)	PPTに問題の絵を入れる プリントを用意する
--	---	--	--------------------------------------

		する 六回目：Sにプリントに書いてある内容を参考しながら、シャドーイング練習をさせる											
2分		まとめ：(板書) (1) N (道具) でVます。 パソコンで日本語を勉強します。 (2) N (道具) でVますか。 はい、N (道具) でVます。 いいえ、N (道具) でVません。 パソコンで日本語を勉強しますか。 はい、パソコンで勉強します。 いいえ、パソコンで勉強しません。 (3) 何でVますか。 N (道具) でVます。 何で日本語を勉強しますか。 パソコンで日本語を勉強します。											
1分	評価	Sに自己評価シートを完成させる <table><tr><td>できた 完全掌握了</td><td>まあまあ 差不多掌握了</td><td>もっと頑張る 掌握的不太好</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>觉得困难的部分： 照成困难的原因：</td><td colspan="2"></td></tr></table>	できた 完全掌握了	まあまあ 差不多掌握了	もっと頑張る 掌握的不太好				觉得困难的部分： 照成困难的原因：			今日の目標は出来たかどうかをチェックする、またできない部分とその理由を書く これにより、Sが自分ことを振り返られるし、Tにとっても教えるときの参考になれる	自己評価シートを配る
できた 完全掌握了	まあまあ 差不多掌握了	もっと頑張る 掌握的不太好											
觉得困难的部分： 照成困难的原因：													
1分	宿題	1、聴解1 シャドーイング練習 2、聴解練習内容を参考しながら、ペアで、挨拶などを入れて、「で」を使って自分のことについて会話練習をする、次の授業で発表してもらう 3、文型練習帳26ページ1番を書く 4、自己評価シートを完成する											
工夫点・アピールポイント（どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など） 簡単な文法ですが、うまく使えるまで繰り返して練習する必要があるので、繰り返して新出語を使って練習させた。													
研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。 （例：〇〇の講座で●●について学び、授業では△△の部分に取り入れた など） 参加年：2018年 2020年 / 研修会名： まるごと オンライン研修 いろどり オンライン研修													

自己評価シート、会話ドリルとシャドーイングについて学び、練習と聞き取り練習に取り入れた

※2 ページ以上になってもいいですが、項目は変更しないでください。